

新型コロナウイルス感染症対策 施設利用ガイドライン

Kandamyoujin Hall

[ビジネスイベント版]



当施設は感染症_国際水準である
「GBAC STAR™認証」を取得しております

01 はじめに	03
02 東京都要請内容 (2022/10/1更新)	04
03 基本的な感染症対策の実施	10
04 基本的な感染症対策チェックリスト (2022/10/1更新)	11
05 スタッフ役割分担表 (2022/10/1更新)	15
06 換気量基準を満たす最大収容人数	16
07 身体的距離の基準 (2022/10/1更新)	17
08 感染症対策備品	18
09 入館拒否者の定義 (2022/10/1更新)	20
10 事前告知 例文	21
11 アナウンス 例文 (2022/10/1更新)	22
12 お弁当提供時の基準 (2022/10/1更新)	25
13 懇親会・パーティーの基準 (2022/10/1更新)	26
14 発熱者・体調不良者対応の基準	31
15 新型コロナに関する過去の東京都要請一覧 (2022/10/1更新)	34
16 お問い合わせ・リンク	35

本ガイドラインの策定について

本ガイドラインは、東京都が「集会場・貸し会議室」及び「イベント」に対して示す要請内容に沿って策定されております。

東京都の要請内容は新型コロナウイルス感染症の感染状況によって変更されます。本ガイドラインにおいても東京都の要請内容の変更に応じて更新いたします。そのため、ご利用者の皆さまは定期的に本ガイドラインをご確認いただければ幸いです。

また、利用日当日の東京都の要請内容が適用 されますのでご注意ください。

コロナ禍での実績と新型コロナ対策の現在地

当施設を運営する株式会社マグネットスタジオは、コロナ禍の中で「DON'T STOP EVENTS」を掲げ積極的に感染対策に取り組み、実績を積んできました。2021年においてはグループ施設で約3,000件ものイベントを開催し、稼働率約60%の実績を残しております。

本ガイドラインは「東京都の要請内容」「関連業界団体ガイドライン」「コロナ禍イベント開催時に一般的になっている対策」を踏まえ、各基準を設けております。 コロナ禍での初めてのイベント開催でも安心して開催準備をいただけるよう当施設は皆さまをサポートいたします。開催時の不明点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

国際的な衛生基準「GBAC STAR™認証」取得

当施設は感染予防の国際的な衛生基準「GBAC STAR™認証」を取得しております。 国内ではまだ取得施設が少ない認証制度となります。当施設ではより質の高い感染症対策を実現するため、約半年間をかけて厳しい審査基準を満たして2021年10月に「GBAC STAR™認証」を取得いたしました。詳細につきましては「当施設の取り組み」の資料をご覧ください。

●要請期間

期間：2022年09月13日～当面の間

※上記要請期間が終了した場合、要請が解除されるわけではありません。上記期間終了前に新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて新たな要請内容が発表されます。

●当施設が該当する施設への要請

施設の種類 (施行令第11条)	内 訳	対 応
劇場等 (第4号)	劇場、観覧場、映画館、プラネタリウム、演芸場 等	●イベントを開催する場合、規模要件に沿って施設を使用することを要請（法第24条第9項）（「3（3）イベントの開催制限」参照） ●カラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、こまめな換気を行う、マイク等の消毒を行うなど、基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼 ●長時間に及ぶ飲食・飲酒など、感染リスクの高い行動を避けることについて、利用者への注意喚起を図るよう協力を依頼 ●以下の事項を実施するよう協力を依頼 ・従業員に対する検査の勧奨 ・入場をする者の整理等 ・発熱等の症状のある者の入場の禁止 ・手指の消毒設備の設置 ・事業を行う場所の消毒 ・入場をする者に対するマスク着用周知 ・感染防止措置を実施しない者の入場禁止（すでに入場している者の退場を含む） ・施設の換気 ・会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（アクリル板設置又は利用者の適切な距離の確保等） ●業種別ガイドラインの遵守を要請（法第24条第9項）
集会場等 (第5号)	集会場、公会堂、葬儀場 等	
展示場 (第6号)	展示場、貸会議室、文化会館、多目的ホール 等	
商業施設 (第7号)	大規模小売店、ショッピングセンター、百貨店 等	
ホテル等 (第8号)	ホテル、旅館（集会の用に供する部分に限る。）	
運動施設 (第9号)	体育館、スケート場、水泳場、屋内テニスコート、柔剣道場、ボウリング場、野球場、ゴルフ場、陸上競技場、屋外テニスコート、ゴルフ練習場、バッティング練習場、スポーツクラブ、ホットヨガ、ヨガスタジオ 等	
遊技場 (第9号)	マージャン店、パチンコ屋、ゲームセンター、テーマパーク、遊園地 等	
博物館等 (第10号)	博物館、美術館、科学館、記念館、水族館、動物園、植物園、図書館 等	
遊興施設 (第11号)	個室ビデオ店、個室付浴場業に係る公衆浴場、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場、ネットカフェ、マンガ喫茶 等	
商業施設 (第12号)	スーパー銭湯、ネイルサロン、エステティック業、リラクゼーション業、銭湯、理容店、美容店、質屋、貸衣装屋、クリーニング店 等	
学習塾等 (第13号)	自動車教習所、学習塾 等	

[【9月13日から】9月13日以降の取組（令和4年9月13日発表）](#)

● イベント開催に関する要請 (1/3)

「イベント開催」に対しての要請内容はご利用者（主催者）が対応する範囲となります。

本ガイドラインの10ページ以降で要請内容に沿った対策内容を記載しておりますのでご確認ください。

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
1. イベント参加者の感染対策	
(1) 感染経路に応じた感染対策 ① 飛沫感染対策 □ 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底 * 適切なマスクの正しい着用については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。 □ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保 * 大声を伴わない場合は、人と人が触れ合わない間隔。その際、主催者や出演者等から参加者等に対して大声を出さないことを適切に周知すること。大声を伴う可能性がある場合は、前後左右の座席との身体的距離の確保（座席間は1席（座席がない場合は最低1m）空ける） * 大声を「観客等が、㊦通常よりも大きな声量で、㊧反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を施さないイベントは「大声あり」に該当することとする。 「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合、上記対策に加えて、 □ 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保 □ 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施	○ マスクを着用しない者や大声を出す者（大声なしの場合）に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施 ・（大声なしの場合）主催者や出演者等から参加者等に対する「大声を出さないこと」の適切な周知 ・ マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客（大声なしの場合）の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等） ・ 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整 ・ 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底 ○ 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導 ○ 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導 ○ チケット販売時等におけるエリア区分に関する周知・徹底 ・ イベントごとの声出し応援のルール等の周知・徹底 ・ 座席指定などエリアごとにチケットを分けて販売 ○ 主催者及び出演者等からのアナウンスや警備員の配置等による、大声なしエリアにおける応援自粛の呼びかけ、及び大声を出す者がいた場合の個別注意や退場の徹底

[【9月13日から】9月13日以降の取組](#) [イベントの開催制限等](#)

● イベント開催に関する要請 (2/3)

イベント開催等における必要な感染防止策

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
(1) 感染経路に応じた感染対策 ②エアロゾル感染対策 ☐ 機械換気による常時換気又は窓開け換気 * 必要な換気量（一人当たり換気量30m³/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的） * 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け * 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は40-70% * 屋外開催は除く ☐ 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】 ☐ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】	☐ 各施設の設備に応じた換気 ・ 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気 ・ 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施 ・ 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス ☐ マスクの着用及び距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照
③接触感染策 ☐ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施 ☐ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】	☐ 具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施 ☐ アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ ☐ 距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照
(2) その他の感染対策 ④飲食時の感染対策 ☐ 上記（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知	☐ アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ ☐ 飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨 ☐ 飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策（身体的距離の確保、マスクを外して会話を行う者への個別注意等）

【9月13日から】9月13日以降の取組 イベントの開催制限等

● イベント開催に関する要請 (3/3)

イベント開催等における必要な感染防止策

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
(2) その他の感染防止策	
⑤ イベント前の感染対策 ☐ 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ	☐ 体制構築の上、検温・検査の実施 ☐ 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備
⑥ 感染拡大対策 ☐ イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起	☐ 感染者が発生した旨の参加者への迅速な周知 ☐ COCOAや各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討） ☐ チケット購入時の参加者の連絡先把握
2. 出演者やスタッフの感染対策	
⑦ 出演者やスタッフの感染対策 ☐ 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施 ☐ 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施	☐ 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施 - 健康アプリの活用等による健康管理 - 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施 - 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える - 練習時やその前後の活動等における適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等 ☐ 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策（舞台上等でのマスク着用の有無などに応じた適切な距離の確保、換気、飲食を伴う際の適切な感染対策等）の実施 ☐ ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策の周知

【9月13日から】9月13日以降の取組 イベントの開催制限等

● イベント人数上限及び収容率の要請

当施設の収容人数は5000名以下となりますので、実際の収容人数に関しましては「[換気量基準を満たす最大収容人数](#)」のページをご覧ください。

● 施設規模に応じた動員人数

施設規模 イベント 類型	施設の収容定員		
	5,000人以下 の施設	5,000人超 ～10,000人の施設	10,000人超の施設
大声なしの イベントの場合	収容定員まで 入場可	5,000人まで入場可	収容定員の半分まで入場可
		「感染防止安全計画」を策定した場合 ➡ 収容定員まで入場可	
大声ありの イベントの場合	収容定員の半分まで入場可		

● 収容定員が設定されていない場合の動員可能人数

施設規模 イベント 類型	人と人との間隔確保	
	十分な人と人との間隔の確保 (2m、最低1m)	人と人が触れ合わない間隔の確保
大声なしの イベントの場合	人数上限なし	5,000人まで入場可
		「感染防止安全計画」を策定した場合 ⇒ 人数上限なし
大声ありの イベントの場合	人数上限なし	(開催について慎重に判断)

[【9月13日から】9月13日以降の取組](#) [イベントの開催制限等](#)

●「大声」の定義について

東京都の要請における「大声」の定義については下記のように定められております。

「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」を「大声」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする。

●イベントにおける具体例

大声にあたるもの	大声にあたらないもの ※マスク着用が前提※
継続的な歓声	登場シーンなどでの一時的な歓声 (わー・きゃー)
アンコールの発声	ゴールシーンなどでの一時的な歓声
コール&レスポンス	ビンゴやクイズなどでの一時的な歓声 (わーい、やったー)
社歌、応援歌などの斉唱	表彰などでの一時的な歓声 (おー)
社訓の唱和	笑い声
大きな声で長時間の会話	研修などでのディスカッション

●上記「大声にあたるもの」が該当する場合：収容率50%まで入場可能

※収容定員が未設定の場合の入場可能人数：1m以上の距離を確保できる収容人数または換気量基準を満たす収容人数のいずれか少ない方

※収容率を50%にする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底する

※飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量のBGMや応援なども含む

[【9月13日から】9月13日以降の取組](#) [イベントの開催制限等](#)

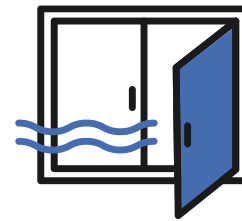
本ガイドライン内で詳細を記載しております。基本的な感染症対策のご協力をお願いします。



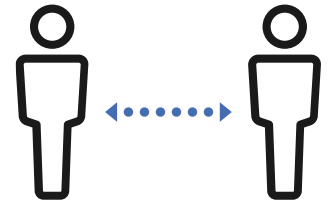
当施設ガイドラインの
チェックリストを確認



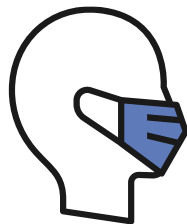
関係者・来場者の
リストを作成



換気量基準に沿って
収容人数を決定



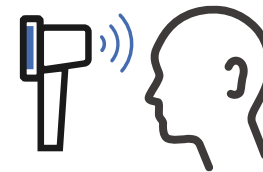
身体的距離の基準に沿って
レイアウト・運用方法を決定



入館者全員がマスク着用



入館時の手指消毒の実施



入館時の検温の実施
体調不良者の入館拒否

当施設では下記のチェックリストに沿って当日の感染症対策内容を打合せさせていただきます。
 チェックリストをご確認いただき、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

※ダウンロード資料： [「新型コロナ対策 事前チェックリスト」](#)

	項目	回答欄	
ス タ ッ フ 役 割 分 担	[必須] 新型コロナ対策 担当責任者を1名設置をします。 準備段階からイベント開催当日を含め新型コロナ対策においての情報を統率するために責任者を設置してください。 また、当施設では「スタッフ役割分担表」をご用意しておりますのでそちらに各担当者を記載し主催者関係スタッフに共有いただくことを推奨いたします。 【スタッフ役割分担表】は欄外記載のリンク先よりダウンロードができます。	はい	いいえ
	[必須] 主催関係者スタッフ及び来場者入館時に検温及び手指消毒の担当スタッフを適正人数配置します。 主催関係スタッフの入館時の検温が疎かになることが多発しております。事前に主催関係スタッフの検温担当を決めてください。 当日関係者スタッフ入館時に1名配置し検温を実施してください。入館場所が施設正面入口と搬入口等で別れる場合はそれぞれに担当スタッフを配置してください。 ※受付の場所、受付方法や整列可能エリアの広さによって配置必要人数は変わってきます。当施設担当者に受付方法等をお伝えいただき必要人数をご相談ください。	はい	いいえ
	[推奨] 発熱者対応をする担当スタッフを適正人数配置します。 設置人数目安：来場者150名ごとに1名〔上限2名〕	はい	いいえ
	[推奨] 受付担当スタッフを適正人数配置します。 設置人数目安：来場者75名ごとに1名 ※受付の場所、受付方法や整列可能エリアの広さによって配置必要人数は変わってきます。当施設担当者に受付方法等をお伝えいただき必要人数をご相談ください。	はい	いいえ
	[推奨] 入退館時の来場者整理担当スタッフを配置します。 設置人数目安：来場者100名ごとに1名 ※受付の場所、受付方法や整列可能エリアの広さによって配置必要人数は変わってきます。当施設担当者に受付方法等をお伝えいただき必要人数をご相談ください。	はい	いいえ

入 館 者 リ ス ト	[推奨] 主催関係スタッフのリストを作成をします。	はい	いいえ
	万が一、主催関係スタッフから後日陽性者が発生した場合、保健所へリストを提出する必要があります。 会社名・氏名・連絡先（所属会社連絡先可）を把握しておく必要があります。リストは開催終了後2週間は保管してください。 【関係者リストフォーマット】は欄外記載のリンク先よりダウンロードができます。		
	[推奨] すべての来場者の連絡先等を把握し、リスト化をします。	はい	いいえ
	万が一、来場者から後日陽性者が発生した場合、保健所へ来場者リストを提出する必要があります。 会社名・氏名・連絡先（所属会社連絡先可）を把握しておく必要があります。リストは開催終了後2週間は保管してください。 事前に連絡先の収集方法も取り決めておくことも推奨いたします。		
レ イ ア ウ ト	[推奨] 「換気量基準」に沿って会場および控室の収容人数を決定します。	はい	いいえ
	当施設では「換気量による収容人数基準」を定めております。会場及び控室など各所の収容人数は換気量基準以下の人数としてください。換気量基準以上の収容人数の場合は必ず2時間に1回の休憩を挟み、10分程度の換気を行ってください。詳細は当施設担当者にご相談ください。 【換気量基準を満たす最大収容人数】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。		
	[推奨] 「身体的距離の基準」に沿ってステージ及び客席レイアウトを決定します。	はい	いいえ
	当施設では東京都の要請内容に応じて「身体的距離の基準」を定めております。当施設担当者とお打合せいただき、各所のレイアウトを決定してください。 また、基準に沿ってアクリル板の設置もお願いします。アクリル板の手配も可能ですので施設担当者にお申し付けください。 【身体的距離の基準】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。		

※ ダウンロード資料：[「関係者リストフォーマット」](#)

入 館 者 へ の 義 務 付 け	[必須] 入館者には「手指消毒」及び「検温」を実施します。	はい	いいえ
	主催関係スタッフ及び来場者などのすべての入館者に手指消毒及び検温を義務付けてください。 また、事前に決めている担当スタッフを配置し、体温の確認をしてください。 非接触体温計、アルコールディスペンサー、アルコール液は無償で提供しております。		
	[必須] 主催関係者及び来場者が体温37.5度以上など「体調不良者等の定義」に該当する場合は入館を断ります。	はい	いいえ
	当施設では東京都の要請内容に応じて「体調不良者等の定義」を定めております。「体調不良者等の定義」に該当する者は当施設への入館はできません。予め主催関係者及び来場者に周知徹底をおこなってください。 【体調不良者等の定義】 【事前告知例文】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。		
	[必須] 入館者にはマスク着用を義務付けます。	はい	いいえ
受 付 ・ 退 場 時	主催関係スタッフ及び来場者などのすべての入館者にマスク着用を義務付けてください。 また、予防効果の高い不織布マスクの義務付けを推奨いたします。		
	[必須] マスク未着用者がいた場合、マスクを提供をします。	はい	いいえ
	入館時もしくは入館後、マスク未着用者がいた場合、必ずお声がけをしていただき着用を促してください。また、マスクを不所持の場合はマスクを提供してください。当施設では数量に限りはございますが予備の不織布マスクをご用意しておりますので、手持ちがない場合は当施設担当者へお申し付けください。		
	[推奨] 来場者受付時に混雑しないよう適切な受付時間を設けます。	はい	いいえ
	受け時間の目安 [来場者 1～20名：受付時間 15分] [来場者 21名～150名：受付時間 30分] [来場者 151名以上：受付時間 1時間] また、受付時には事前に決めている担当スタッフを配置し、身体的距離 1mを確保するよう列整理等をおこなってください。		
受 付 ・ 退 場 時	[推奨] 受付には飛沫防止シートもしくはアクリルパネルを設置します。	はい	いいえ
	受付には必ず飛沫感染対策を実施してください。当施設では飛沫防止シートもしくはアクリルパネルを無償で提供しております。数量に限りがございますので当施設担当者にお申し付けください。		
	[推奨] 来場者退場時は規制退場を実施します。	はい	いいえ
受 付 ・ 退 場 時	来場者退館時は混雑しないよう約50名単位で規制退場を実施してください。 また、来場者に規制退場にご協力いただけるよう受付時・休憩時などのタイミングで規制退場の実施のアナウンスを適宜おこなってください。 【アナウンス例文】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。		

注 意 喚 起	【必須】 イベント当日の感染防止策の内容をHPなどで来場者に告知をします。 事前にイベント当日の感染防止策の内容を告知することで当日のイベント運営がスムーズになります。事前告知はHP・メール・SNS・申込時等、出来る限り多くの目に触れるよう掲載するようお願いします。 【事前告知例文】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ
	【必須】 適宜、感染症対策のご協力の呼びかけをします。 来場者が感染症対策を意識していただけるよう、司会者・影アナウンス・掲示物等で適宜感染症対策のご協力の呼びかけを実施してください。 【アナウンス例文】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ
ス テ ー ジ 上 の 対 策	【推奨】 マスク未着用の登壇者をケアするステージスタッフはフェイスシールドを着用します。 登壇者がマスク未着用の場合、ステージ上で対応するスタッフはフェイスシールドの着用をすることを推奨します。	はい	いいえ
	【必須】 マイクは使い回しを極力避け、使いまわす場合は消毒を実施します。 マイクは使い回しをしないよう使用本数を調整してください。使い回しが発生する場合は必ずその都度消毒を実施してください。マイク専用消毒スプレーは無償提供しております。	はい	いいえ
飲 食	【必須】 お弁当を提供する際は、「お弁当提供時の基準」に沿って対応いたします。 主催関係スタッフ及び来場者にお弁当を提供する際は「お弁当提供時の基準」に沿って対応をしてください。来場者へお弁当提供時には提供前に感染症対策に関するアナウンスを実施してください。 【お弁当提供時の基準】 【アナウンス例文】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ
	【必須】 懇親会・パーティーを実施する際は、「懇親会・パーティーの基準」に沿って対応いたします。 懇親会・パーティーを実施する際は、当施設の「懇親会・パーティーの基準」に沿って対応をしてください。また、必ず当施設担当者と事前に入念な打合せをおこない感染症対策の徹底にご協力ください。 【懇親会・パーティーの基準】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ
発 熱 者 対 応	【必須】 発熱者及び体調不良者のための隔離スペースを用意します。 発熱者及び体調不良者が発生した場合、隔離するためのスペースが必要となります。ご利用エリア内に隔離スペースを確保してください。確保が難しい場合は当施設担当者にご相談ください。 【発熱者・体調不良者対応の基準】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ
	【必須】 発熱者及び体調不良者が発生した場合の対応フローを用意します。 万が一に備えて対応フローをご用意ください。また、当施設では対応フロー例をご用意しておりますのでご参考にしてください。 【発熱者・体調不良者対応の基準】は「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に掲載しております。	はい	いいえ

イベント当日の新型コロナ対策をスムーズに実行するため、事前に各担当スタッフを決めてください。

※ダウンロード資料：[「新型コロナ対策 役割分担表」](#)

※赤枠は必須項目となります

新型コロナ対策責任者

※1名選任

検温スタッフ

※必要人数をご相談ください

来場者整理スタッフ

※目安：来場者100名ごとに1名

受付スタッフ

※目安：来場者75名ごとに1名

発熱者対応スタッフ

※目安：来場者150名ごとに1名

※受付の場所、受付方法や整列可能エリアの広さによって配置必要人数は変わってきます。当施設担当者に受付方法等をお伝えいただき必要人数をご相談ください。

換気量基準(一人あたり30m³/h) を満たす収容人数を推奨しております。

換気量基準を満たさない収容人数とする場合、必ず2時間に1回の間隔で休憩時間を設け、扉の開閉による換気をおこなってください。

懇親会・パーティーにつきましては換気量水準を満たす収容人数を遵守いただきます。

一人あたりの換気量目安

30 m³/h

1時間あたりの換気回数目安

2 回

当ホールの換気量

総換気量

10,800 m³/h

1人あたりの換気量

30 m³/h

1時間あたりの換気回数

約 4 回

収容率100% = 最大360名

来場者が全員マスク着用している前提で適切な距離をお願いします。

ステージ上でのマスク着用がない場合、下記基準に沿ってイベント開催をいただけますようご協力をお願いします。

●ステージ上での登壇者間の距離

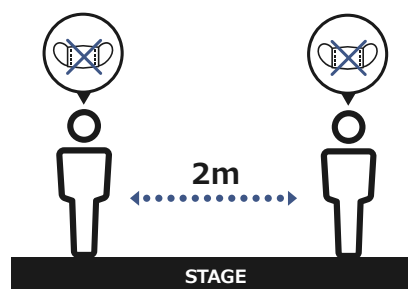
マスク着用	1名以上がマスク未着用			
対面会話	有		無	
アクリルパネル設置	有	無	有	無
必要距離	1m	2m	0.5m	1m

※「0m」とは人と人が触れない距離を指します

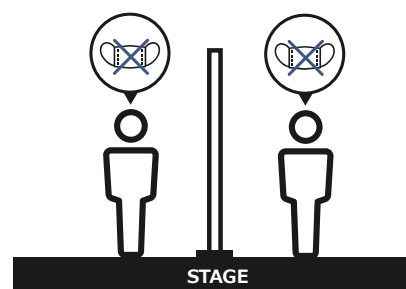
●ステージ上

ステージ上の登壇者に限りマスクを外すことができます。

登壇者は発声を前提に考えられています。



※いずれか1名がマスク未着用※
※対面会話禁止※



2m以下
※いずれか1名がマスク未着用※

●ステージ前面と客席最前列の距離

マスク着用	-	
対面会話	-	
アクリルパネル設置	有	無
必要距離	1m	2m

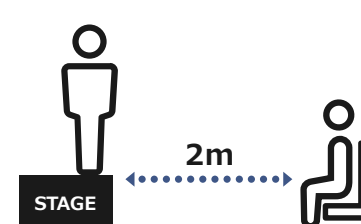
※登壇者のマスク着用の有無に関わりません

※来場者はマスク着用必須となります

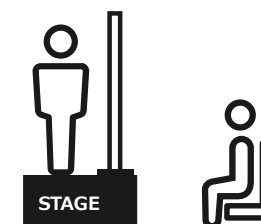
●ステージと最前席

登壇者のマスク着用が無い場合、

ステージと最前列の距離は2m開ける必要があります。



※登壇者マスク着用有無にかかわらず※



2m以下
※登壇者マスク着用有無にかかわらず※

当施設では感染症対策備品や消耗品を無償で提供しております。



オートディスペンサー



非接触式検温器



マイク消毒用スプレー



受付用飛沫防止シート

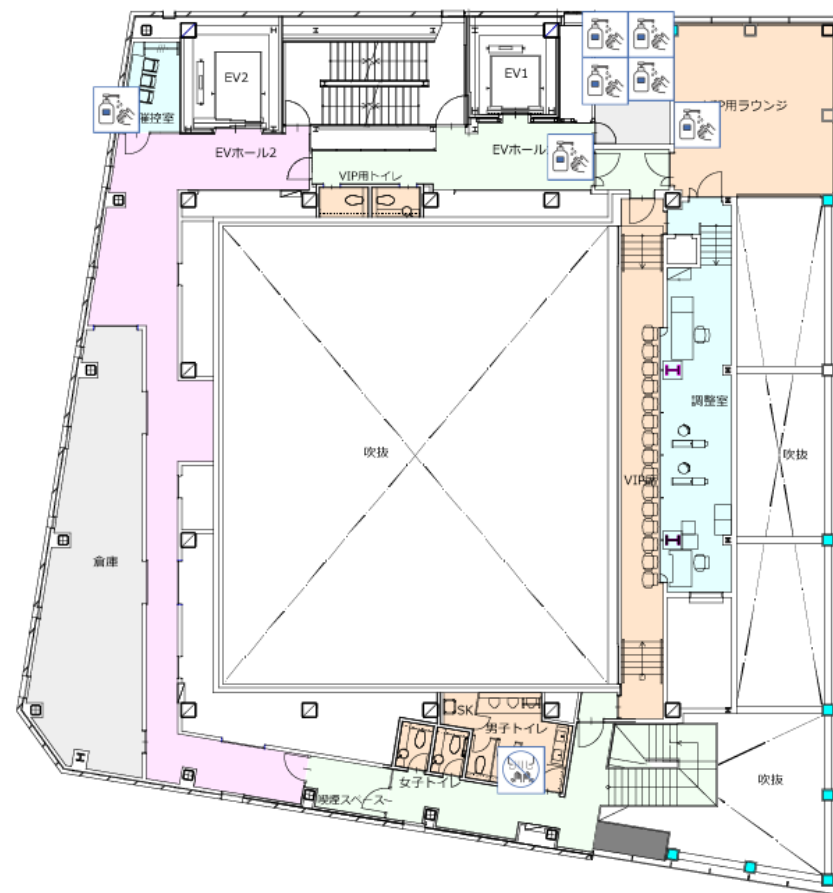
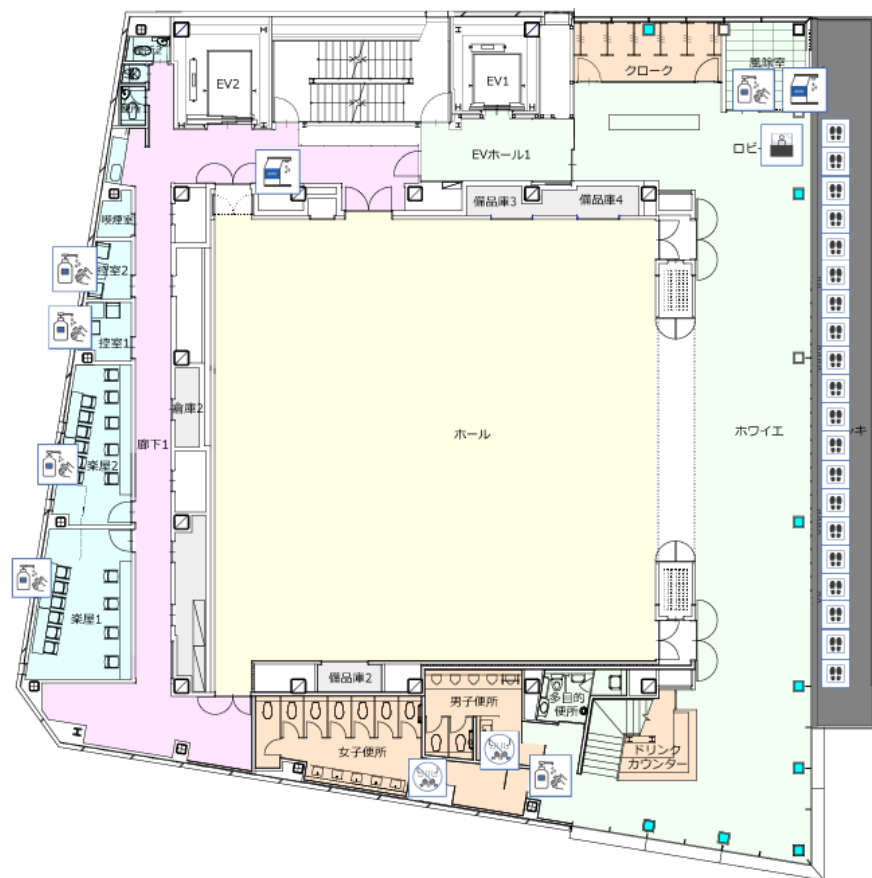


予備用不織布マスク

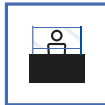


アルコールウェットティッシュ

感染症対策備品の設置場所となります。



アルコールオートディスペンサー



飛沫防止シート



整列用足形マーク



アルコールディスペンサー

イベント開催時には体調不良者及び新型コロナ罹患患者である疑いが晴れない者の入館をお断りすることが一般的です。

当施設でも同様に下記の条件に当てはまる方の入場をお断りしておりますので、主催関係スタッフ及び来場者へも周知徹底をお願いします。

参考資料：[【新型コロナウイルス 診療の手引き第8.0版】](#)、[【水際対策に係る新たな措置について】](#)

●入館拒否者の定義

【1】PCR検査陽性歴がある方で開催当日に下記のいずれかの条件を満たしていない場合。

【有症状の場合】

1. 発症日から10日間経過し、症状が治まってから72時間経過している
2. 症状軽快後24時間経過し、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあげ、2 回の陰性を確認できている

【無症状の場合】

1. 検査日から10日間経過している
2. 検査日から6日間経過し、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上 間隔をあげ、2 回の陰性を確認できている

【2】開催当日から10日間以内に下記のいずれかの症状があった場合。

1. 体温が37.5以上の発熱
2. 強い倦怠感
3. 咳、息切れ
4. 嗅覚・味覚異常

【3】海外渡航歴があり下記のいずれかの条件を満たしていない場合。

1. 帰国してから7日間（指定国・地域は14日間）経過している

【4】濃厚接触者に指定され自宅待機中である場合

【5】同居する方が濃厚接触者に指定され自宅待機中である場合、もしくは【1】～【3】の内容に当てはまる場合

主催関係スタッフ及び来場者に当日の感染症対策を認識していただき、積極的にご協力いただけるよう事前に感染症対策を告知してください。

特に当日来場をお断りする条件を明確に告知することが現在一般的となっております。

ホームページ、メール、SNS、申込時等に下記の告知例文を基にご案内をお願いします。

- 開催当日は東京都の要請に従い感染症対策を実施いたします。
- 開催当日の感染症対策にご協力いただけない場合は退場をしていただく場合がございます。予めご了承ください。
- 下記の内容に当てはまる場合は開催当日の来場をお断りいたします。
 - 【1】 PCR検査陽性歴がある方で開催当日に下記のいずれかの条件を満たしていない場合。
 - 【有症状の場合】
 - 1. 発症日から10日間経過し、症状が治まってから72時間経過している
 - 2. 症状軽快後24時間経過し、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上間隔をあけ、2 回の陰性を確認できている
 - 【無症状の場合】
 - 1. 検査日から10日間経過している
 - 2. 検査日から6日間経過し、PCR検査または抗原定量検査で 24 時間以上 間隔をあけ、2 回の陰性を確認できている
 - 【2】 開催当日から10日間以内に下記のいずれかの症状があった場合。
 - 1. 体温が37.5以上の発熱
 - 2. 強い倦怠感
 - 3. 咳、息切れ
 - 4. 嗅覚・味覚異常
 - 【3】 海外渡航歴があり下記のいずれかの条件を満たしていない場合。
 - 1. 帰国してから7日間（指定国・地域は14日間）経過している
 - 【4】 濃厚接触者に指定され自宅待機中である場合
 - 【5】 同居する方が濃厚接触者に指定され自宅待機中である場合、もしくは【1】～【3】の内容に当てはまる場合
 - 【6】 開催当日の来場時にマスク未着用の場合

イベント開催中のアナウンスの例文をご用意しております。イベント中も感染症対策にご協力をいただけるよう適宜アナウンスをおこなってください。例文を参考にイベント内容に合わせて文章を変更してください。

●客入時のアナウンス例文

本イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施しております。来場者の皆さまにおかれましてはマスクを常時着用いただき、定期的な手指消毒の実施をお願い致します。また、身体的距離にご注意いただき、近距離もしくは大声での会話はお控えください。飲食は原則禁止とさせていただきますが、のどを潤す程度の飲み物を召し上がることは可能です。ただし、マスク未着用の状態での会話は禁止となりますのでご注意ください。

本イベント終了後は混雑を避けるために規制退場を実施いたします。ご退場までにお時間をいただきますが予めご了承ください。

●休憩時のアナウンス例文

休憩中におかれましても新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力お願いします。マスクを常時着用いただき、定期的な手指消毒の実施をお願い致します。また、近距離もしくは大声での会話はお控えください。飲食は原則禁止とさせていただきますが、のどを潤す程度の飲み物を召し上がることは可能です。ただし、マスク未着用の状態での会話は禁止となりますのでご注意ください。

本イベント終了後は混雑を避けるために規制退場を実施いたします。イベント終了後はすぐに席を立たずに席についたままお待ちいただき、アナウンスに従ってご退場をお願いします。ご退場までにお時間をいただきますが予めご了承ください。

「お弁当提供時」「イベント終了後」は次ページに記載

●お弁当提供するお昼休憩のアナウンス例文

この後、（お弁当提供場所）でお弁当を配布させていただきます。食事につきましても新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力ください。食事は（飲食エリア）でのみとさせていただきます。（飲食エリア）以外での食事は禁止となります。食事中は黙食にご協力ください。マスク未着用の状態での会話は禁止となりますのでご注意ください。食事後、お弁当容器につきましては（お弁当ゴミ回収場所）にお持ちください。

（飲食エリア）以外では、のどを潤す程度の飲み物を召し上がることは可能です。マスク未着用の状態での会話は禁止となりますのでご注意ください。

●イベント終了後のアナウンス例文

只今より規制退場を実施させていただきます。ご案内があるまでは席についたままでお待ちください。

それではまず初めに○列目から○列目の席のお客様はご退場口へお進みください。

（※50名単位目安、対象席の方が扉から退場しきるくらいで次の席をご案内する）

では、次に○列目から○列目の席のお客様はご退場口へお進みください

（※以降同じ流れで進める）

●懇親会時のアナウンス例文①（アクリル板あり）

来場者の皆様へ、新型コロナウイルス感染拡大防止策へのご協力のお願いをいたします。懇親会中は定期的な手指消毒を実施いただき、お食事は決められた飲食エリアでのみお願いいたします。また飲食エリアではマスクを外してご歓談いただけますが、お料理・お飲物を取りに行かれる際などお席を離れる場合は必ずマスクの着用をお願いいたします。

なお、ご歓談時には飛沫防止のため、大声での会話はお控えいただきますようお願いいたします。

懇親会時の感染拡大防止策については会場内のスクリーンにも投影されておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

●懇親会時のアナウンス例文②（アクリル板なし）

来場者の皆様へ、（重ねて）新型コロナウイルス感染拡大防止策へのご協力のお願いをいたします。懇親会中はマスクを常時着用いただき、定期的な手指消毒の実施をお願いいたします。お食事は決められた飲食エリアでのみご利用いただけますが、マスク未着用の状態での会話は禁止となりますのでご注意ください。

なお、ご歓談時には飛沫防止のため、大声での会話はお控えいただきますようお願いいたします。

こちらのルールが守られない場合には、ドリンクの提供を中止させていただく可能性もございますので、予めご了承ください。

懇親会時の感染拡大防止策については会場内のスクリーンにも投影されておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

お弁当提供時は「黙食」をしていただくことが前提となります。レイアウトにつきましては下記の基準をお守りください。

●非対面のレイアウト

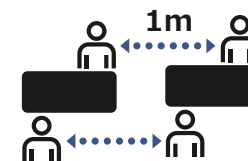
レイアウトは非対面のレイアウトを推奨いたします。下記、真ん中の図のように一方向に席を配置するか、右図のように対面しないような席の配置をしてください。身体的距離は1mとることを推奨いたします。



「黙食」を実施
会話をする際はマスク着用



※対面しないレイアウト※



※対面しないレイアウト※

●対面のレイアウト

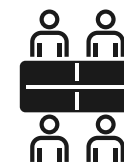
非対面のレイアウトが出来ない場合、アクリルパネルなどを配置してください。下記、右図のように隣の席と身体的距離を保てない場合も席の間にアクリルパネルなどを配置してください。



「黙食」を実施
会話をする際はマスク着用



※対面するレイアウト※



1m以下

※対面するレイアウト※

懇親会・パーティーを実施する際は、当施設が定める感染症対策の基準をお守りください。

実施にあたっては当施設担当者との入念な打合せをおこなってください。

● 基本的な感染症対策の考え方

◎ 飲食可能な場所（飲食エリア）を限定する必要があります。

どの場所で飲食を可能にするかを明確にする必要があります。事前に施設担当者と打合せをおこない定めてください。

◎ 飲食エリア外はマスク着用の徹底をしてください。

食事を取りに行くなど飲食エリアを離れる場合はマスク着用が必須となります。

◎ 飲食する人との身体的距離は1 m以上取ることを推奨します。アクリルパネル設置有無に関しては「指標一覧表」をご確認ください。

レイアウトについては事前に施設担当者と打合せをおこない定めてください。

◎ ブッフェ形式時の食事を取る際は、マスク着用とビニール手袋を着用してください。

飲食者自身がマスク着用とビニール手袋を必ず着用して、食事を取っていただきます。

ケータリングスタッフによる取り分けは別途費用が発生いたします。

◎ 人数については換気量基準を満たす収容人数が上限となります。

換気量基準である一人あたりの換気量30m³/hを満たす人数を上限とします。

但し、立食形式の場合は換気量基準を満たす収容人数の半数を上限とします。

人数の決定は施設担当者と打合せをおこない定めてください。

◎ ケータリング業者は指定業者となります。

普段は指定業者制度を取っておりませんが、コロナ禍における感染症対策の徹底のために、ケータリング業者は施設側指定の業者とさせていただきます。

複数社ご用意しておりますので、お打合せの上、ケータリング業者を決定してください。

◎ ワクチン接種証明・PCR検査陰性証明（1週間以内）を当日受付での提示、もしくは事前確認を推奨いたします。

新型コロナワクチン接種の証明できるもの、もしくはPCR検査の陰性証明（1週間以内の検査結果）できるものを当日提示するか、

もしくは、事前確認することを推奨します。

各指標の一覧は下記の通りとなります。ご不明点ございましたら当施設担当者にお問合せください。

● 指標一覧表

	【推奨例】 ※対面席にアクリル板を設置	【非推奨例】 ※アクリル板を設置しない場合の最低実施条件
飲食可能場所	飲食エリアに定めたテーブル	飲食エリアに定めたテーブル
横並び席の距離	1 m	—
食事取り分け時 (飲食者自身の場合)	ビニール手袋 及び マスク着用	ビニール手袋 及び マスク着用
注意喚起 プロジェクター投影	○必要	○必要
司会者による注意喚起	会の冒頭に実施	会の冒頭及び区切りごとに実施
マスク着用ルール	指定の飲食エリアでのみマスクを外すのは可 移動時は常時マスク着用	常時マスク着用 自席の飲食時のみマスクをずらして飲食可 マスク未着用時の会話など厳禁 (マスクを完全に外すのはNG)
ワクチン証明 PCR検査陰性証明	推奨	推奨

※【非推奨例】についてはアクリル板の設置や座席間の距離、酒類提供に関する制限を設けておりませんが

上記のルールが守られない場合や泥酔者が出た場合はドリンクの提供を中止させていただく可能性がございます。予めご了承ください。

懇親会・パーティー利用時の収容人数は下記の通りとなります。

また、レイアウトにより下記の収容人数より少なくなる場合がございます。レイアウト図の作成につきましては当施設担当者にお申し付けください。

室名	面積	高さ	換気量基準を満たす 最大収容人数	懇親会・パーティー 最大収容人数
ホール	316㎡	6.9m	360名	180名
ホワイエ	150㎡	7.2m	56名	56名

○当面の間は懇親会・パーティー利用時の収容人数は上記で定められた人数を上限とします

○レイアウトにより定められた収容人数より少なくなる場合がございます

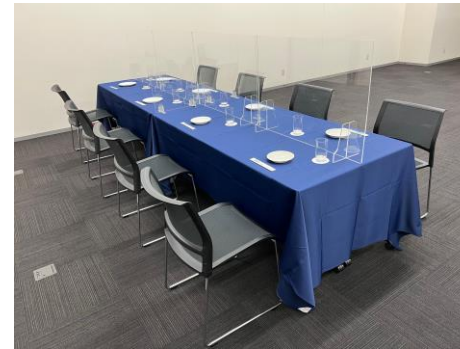
○ご希望のレイアウトをお申し付けいただければ基準に沿ったレイアウト図の作成をいたします

【推奨例】懇親会実施イメージ

●実施イメージ画像



テーブルの大きさ：幅1800mm×奥行900mm(4名)

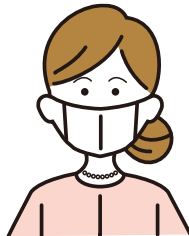


テーブルの大きさ：幅3600mm×奥行900mm(8名)

●プロジェクター投影画像例

歓談時等ではプロジェクター投影にて感染対策の注意喚起を投影してください。

当施設で注意喚起のパワーポイントデータをご用意しております。必要であればお申し付けください。



移動時はマスク着用



【非推奨例】懇親会実施イメージ

●実施イメージ画像



※マスク常時着用



●アナウンスの実施タイミング

注意喚起のアナウンスは懇親会の冒頭および区切りごとに実施をお願いいたします。（タイミングは下図の  参照）

※アナウンスの例文は[P.24](#)に掲載しております

目安時間	スケジュール例
18:00	受付
18:30	乾杯・懇親会開始
19:00	歓談
19:20	余興
19:40	歓談
20:00	中締め

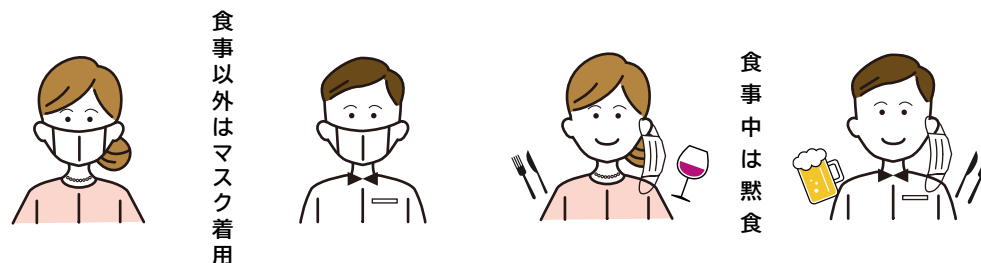


●プロジェクター投影画像例

歓談時等ではプロジェクター投影にて感染対策の注意喚起を投影してください。

当施設で注意喚起のパワーポイントデータをご用意しております。

必要であればお申し付けください。



発熱者及び体調不良者が発生した場合を想定し、隔離スペースの設置場所を確保してください。
また、次ページ以降に記載の対応フローを各担当者に共有してください。

● 隔離スペースの設置と必要備品

一時的に隔離するためのスペースをご用意ください。部屋数が足りない場合は部屋の一部をパネルパーティションで囲うだけでも構いません。

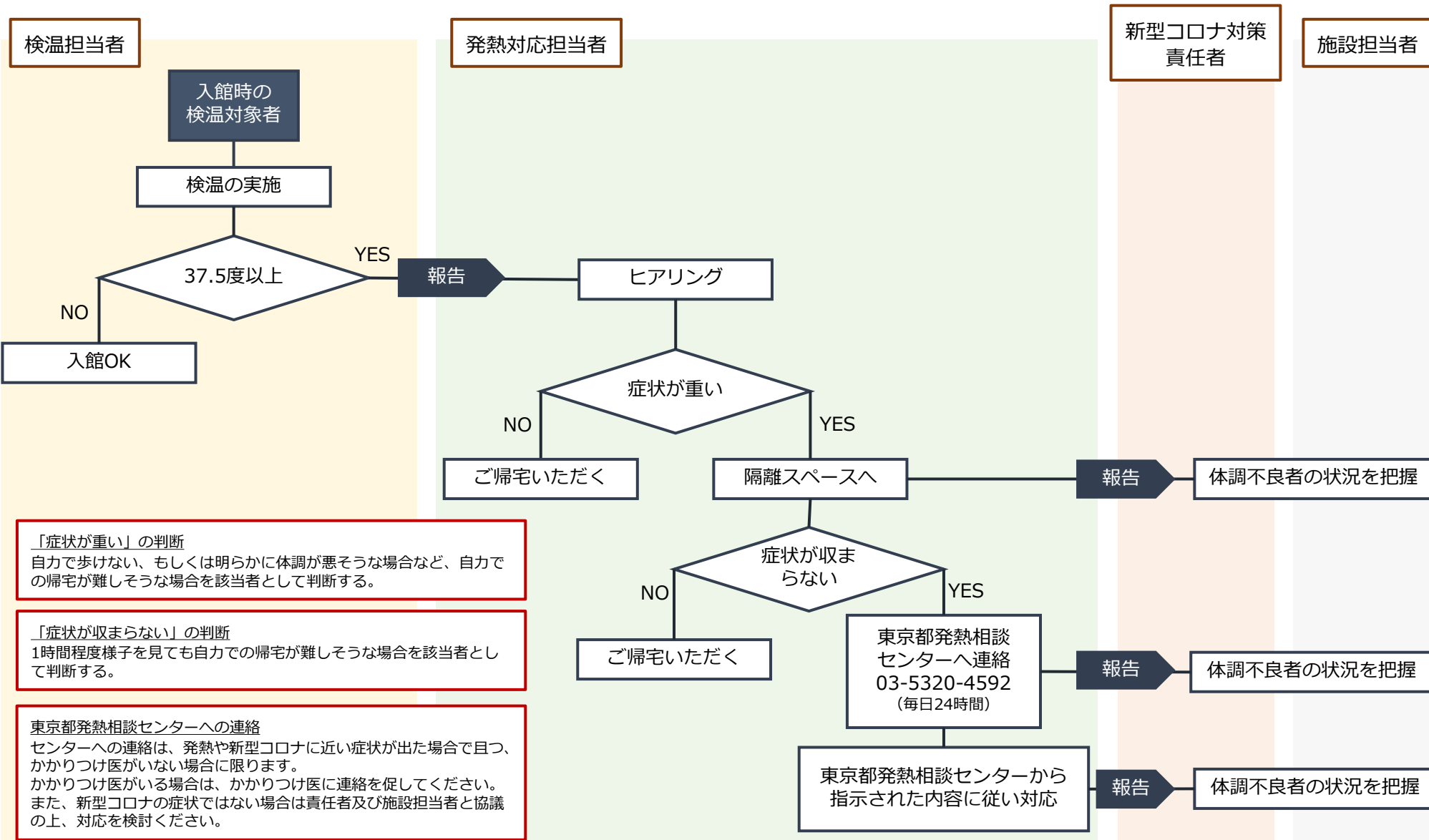
● 発熱対応時の保護用具

担当するスタッフは感染予防のために「マスク着用」「ゴム手袋」「フェイスシールド」を装着して対応をしてください。

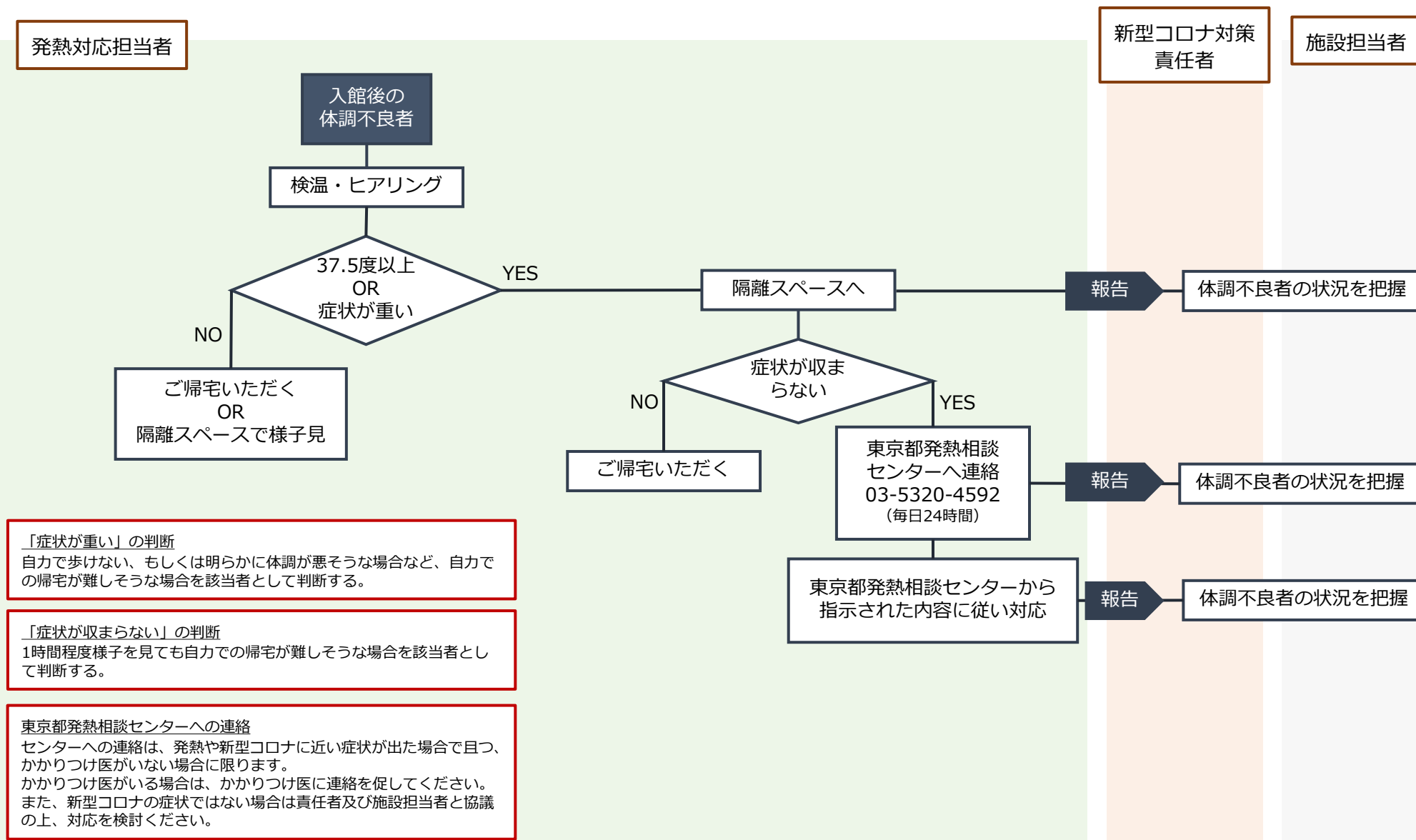
各保護用具につきましては当施設でご用意しておりますのでお申し付けください。



【入館時の発熱者・体調不良者対応フロー】



【入館後の発熱者・体調不良者対応フロー】

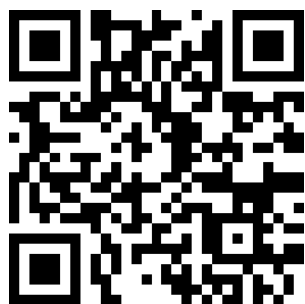


日付				要請適用名称	イベント施設		イベント主催者						飲食店							
開始日		終了日			営業時間	酒提供	大声なし		大声あり		新型コロナ認証店				新型コロナ「非」認証店					
							本番時間	収容人数制限 ① ①が優先	収容人数制限 ② ①が優先	本番時間	収容人数制限 ① ①が優先	収容人数制限 ② ①が優先	営業時間	酒提供時間	1テーブル人数	提供時間	時短要請	酒提供制限	1テーブル人数	提供時間
2021年	1月8日	2021年	3月21日	緊急事態措置等(2回目)			5時-20時	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限				5時-20時	11時-19時			5時-20時	提供停止		
	4月1日		4月21日	リバウンド防止期間			5時-21時	5,000名超施設では10,000名か収容率50%の少ない方を上限	5,000名以下施設では5,000名を上限	5時-21時	20,000名超施設では10,000名を上限	収容率50%を上限	5時-21時	11時-20時			5時-21時	11時-20時		
	4月25日		5月11日	緊急事態措置等(3回目_第1期)	無観客営業		-	無観客	-				5時-20時	提供停止		90分	5時-20時	提供停止		90分
	5月12日		6月20日	緊急事態措置等(3回目_第2期)	5時-21時		5時-21時	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限				5時-20時	提供停止		90分	5時-20時	提供停止		90分
	6月21日		7月11日	まん延防止等重点措置	5時-21時		5時-21時	10,000名超施設では5,000名を上限	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	5時-21時	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限	5時-20時	11時-19時	2名	90分	5時-20時	提供停止	2名	90分
	7月12日		9月30日	緊急事態措置等(4回目)	5時-21時		5時-21時	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限	5時-21時	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限	5時-20時	提供停止	2名	90分	5時-20時	提供停止	2名	90分
	10月1日		10月24日	東京都におけるリバウンド防止措置	-	自粛	5時-21時	5,000名超施設では10,000名か収容率50%の少ない方を上限	5,000名以下施設では5,000名を上限	5時-21時	20,000名超施設では10,000名を上限	収容率50%を上限	5時-21時	11時-20時	4名	-	5時-20時	自粛	4名	-
	10月25日		11月30日	基本的対策徹底期間における対応(第1期)	-	-	-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	4名 ワイクバス：制限無	-	-	11時-21時	4名	-
	12月1日	2022年	1月10日	基本的対策徹底期間における対応(第2期)	-	-	-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	8名 ワイクバス：制限無	-	-	11時-21時	4名	-
2022年	1月11日			オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応	-	-	-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	4名 ワイクバス：制限無	-	-	11時-21時	4名	-
	1月12日		3月21日	まん延防止等重点措置	-		-	5,000名を上限	-	-	10,000名超施設では5,000名を上限	収容率50%を上限	5時-21時	11時-20時	4名 陰性証明：制限無	90分	5時-20時	提供停止	4名	90分
	3月22日		4月24日	リバウンド警戒期間	-		-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	4名 陰性証明：制限無	90分 陰性証明：制限無	-	11時-21時	4名	90分
	4月25日		5月22日	リバウンド警戒期間(延長)	-		-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	8名 陰性証明：制限無	90分 陰性証明：制限無	-	11時-21時	4名	90分
	5月23日		9月12日	5月23日以降の取組	-		-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	-	-	-	11時-21時	4名	120分
	9月13日		当面	感染拡大防止の取組	-		-	5,000名か収容率50%のどちらか大きい方を上限	-	-	収容率50%を上限	-	-	-	-	-	-	11時-21時	4名	120分

Kandamyoujin Hall

公式HP : <https://myoujin-hall.jp/>

[公式HP]



[当施設の取り組み資料ダウンロード]



[本資料をダウンロード]

